

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2

TEL : 077-573-8001

FAX : 077-573-8002

URL : <http://www.k-boat.co.jp>

E-mail : [kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)

8月にはインターハイとインカレを観戦しました。インターハイは規格艇の主権者配艇、インカレは自艇の持ち込みです。高校と大学の違いはあるでしょうが全国への参加チームの広がりには圧倒的にインターハイです。インカレに地方から自艇を運んでの参加は負担が大きく、逆に、中央の強豪大学は海外製の高級レース艇を使って優勝をかつさらってしまう。自艇参加は世界標準なので異論はありませんが、インターハイをインカレと同じように負担が偏った状況にしてはなりません。将来、国体・インターハイを自艇参加へ移行する際には機会均等を念頭に十分な検討が求められます。【古川】

## 未来に向かって進化

- お客さまの役にたつ存在になる -

\* 総てに挑戦

プロの仕事に徹する

\* 存在価値の追求

国内メーカーとしての価値を高める

\* スピードアップ

総ての仕事に納期を設定する

## インカレ M1X WinTech 艇で優勝!

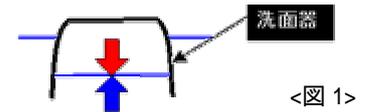
8月20日~23日にかけて、全日本大学選手権が戸田ボートコースで開催され、男子1Xに出場した杉崎選手(日大)が2位に約1艇身の差を付けて見事優勝を果たしました。使っていたのは日大のチームカラーにカラーリングしたWinTech Medalistです。WinTechボートは北京五輪で2つ、一昨日終了した世界選手権でもメダルを獲得しました。ジュニア、U23も含めて、世界大会で使用される艇数も徐々に増えてきています。



## ボートの安全

大波や不慮の事故で艇が損傷し、艇内が完全に浸水してしまったら、ボートは沈没してしまうことになります。そうならないために、隔壁を設けて空気室を複数に分割したり、KUWANOの規格艇のように発泡体を挿入し予備浮力を設けたりと、浸水があっても艇が完全に沈んでしまわないような対策を、造船メーカーでは行っています。また、皆さんがユーザーとして出来る安全対策もあります。それは艇の整備をしっかりと行うことです。洗面器の例からも分かるように、通常、船底に1箇所穴が空いたとしても、空気の逃げ道がない限り、内部への浸水はわずかで済みます(図1、図2)。一方、艇の上部に穴が空いていて、空気の逃げ道があると、浸水は急速に起きてしまいます(図3)。よく、水栓の紛失を放置していたり、艇の傷をガムテープで貼ったりしているのを見かけますが、これは見た目だけの問題ではなく、安全面でも大変危険です。靴の踵紐のチェックも含め、ボートを正しい状態で使えるよう、点検・整備をお願いします。

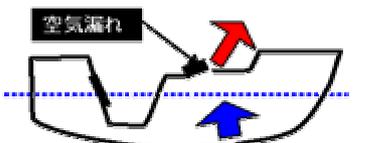
特に古い艇では、メーカー側の対策も不十分なものがあります。ビニルキャンパスの破れやコーナートープの傷みなどにも十分注意してください。桑野造船では、ビニルキャンパス艇用に注入式の発泡体をご用意しています。艇重量は重くなってしまいますが、無償でお配りしていますので、予備浮体として艇内に挿入していただくことをお勧めします。



<図1>



<図2>



<図3>

## お知らせ

### \* 日本代表選手 世界で活躍!

ポーランドで開催された世界選手権も終了し、日本代表選手の戦いも一段落です。今シーズンはボート・カヌーともに、特筆すべき好成績が続出しています。11月、12月に開催されるアジア選手権、東アジア大会でも期待が膨らみます。

カヌー世界選手: WK-1 (北本) **4位** / 世界選手権に先立って行われたワールドカップでは日本人初優勝の快挙

ボートU23世界選手権: LM4- (田中・中野・西村・三村) **2位** / スイープ種目初のメダル獲得

ボート世界選手権: LM1X (武田) **4位** LM8+ (NTT東京) **4位** / LM4-はFBでしたが準決勝でコンマ差の接戦を展開

### \* 桑野工場見学 大盛況!

滋賀県・琵琶湖漕艇場で開催された全国高校総体も無事終了しました。今年は桑野造船の地元と言うこともあり、レースの合間を縫って、多くの方が工場見学に来てくださいました。その数150名超。予想以上の大盛況でした。スタッフの大半が大会会場に出動していたこともあり、十分な対応はできませんでしたが、ボート造りの現場の雰囲気や、少しでも肌で感じていただけたのではと思っています。この見学がボートを大切に扱ったり、桑野ファンになるきっかけになれば嬉しい限りです。見学は随時行っておりますので、お近くへお越しの際はぜひお立ち寄りください。



BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail ([kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp))で弊社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート・カヌー関係者へお渡しください。